

平成30年度 事業実施計画書（モデル的事業）

団体名：丹生川まちづくり協議会

1. モデル的事業名	若者参画促進事業
2. 事業名	丹生川まちづくり青年部活動事業
3. 目的	若者が地域活動に参画する仕組みをつくり、地域活動に参画する若者が少ない、若者の意見がまちづくりに反映されていない、地域の問題に関心を持つ若者が少ない、地域活動に閉塞感が生じ始めた等の課題の解決を図る。
4. 事業内容	<p>各地区公民館からの推薦者と公募により「丹生川まちづくり青年部」を設置し、地域で活躍する人材育成および継続的に地域に活力を生む取り組みの実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者の視点に立った地域課題の発掘 ・課題の解決に向けた方策を学ぶ講座や研修の実施 ・事業の検証、研修等の結果を踏まえた事業の企画・立案 ・まち協本部への事業提案 等
5. 効果見込	<ul style="list-style-type: none"> ・地域への関心が高まり、意欲的に地域行事に取り組むようになる。 ・青年部の活動を通して、若者同士のつながりができることで新たなまちおこし活動の創出や他団体との連携が期待できる。 ・青年部の第1期生、第2期生と世代をまたぎながら若者がまちづくりに参加することで継続的に青年部活動事業が展開できる。

平成 30 年度 事業スケジュール

月 日	項 目	事業内容 (対象・方法等)	摘 要
毎月 1 回	定例会議	4 月：平成 29 年度活動を踏まえた平成 30 年度事業計画作成 5 月：課題に対する勉強会 6 月)：事業の確認、意見交換等 11 月 12 月：事業の振り返り 1 月：次年度事業計画の立案 2 月：活動報告会及び次年度事業の提案 3 月：次世代への引継ぎ	
6 月 29 日	丹生川の未来を語る若者の会	地域の若者が一堂に会し、地域の魅力や課題の抽出、今後のまちづくりの目標等について語り合う	
11 月	民芸品制作講座	子ども達を対象に地域で過去から伝わる民芸品の制作講座を開催し、文化の継承を図る	
11 月	先進地視察研修	まちづくりの先進地を視察し、まちづくりに取り組む方からのヒアリング調査を通じて、人材育成や地域運営、若者のまちづくりへの関わり等を学び、今後のまちづくりの進め方を模索する	
2～3 月	活動報告会	まちづくり協議会の役員等を対象に活動報告会を実施するとともに、丹生川の未来を語る会及び先進地視察研修の結果を踏まえた次年度の活動について提案する	
適宜	Facebook での情報発信	各地域で行われる行事や地域の魅力、まち協活動などを会員個々が SNS を用いて情報発信する	

平成30年度 丹生川まちづくり協議会 収支予算書 (モデル的事業)
丹生川まちづくり青年部活動事業

【収 入】

単位：円

区 分	予算額	内 訳
市補助金	810,000	協働のまちづくり支援金(モデル的事業)
自主財源	66,000	丹生川まちづくり青年部活動事業費
参加者負担金	44,000	
合 計	920,000	

【支 出】

単位：円

事業・科目	予算額	内 訳	
		支援金充当額	
事業費	920,000	810,000	
報償費	338,000	338,000	委員報酬
旅費	80,000	80,000	視察研修宿泊費
需用費	248,450	138,450	消耗品費、印刷製本費、食糧費等
役務費	10,000	10,000	通信運搬費
使用料及び賃借料	243,550	243,550	バス借上料、テント使用料等
合 計	920,000	810,000	